

午後Ⅱ試験

問 1

問 1 では、ソフトウェア開発におけるリスクアセスメントとレースコンディション対策について出題した。全体として正答率は高かった。

設問 1 は、リスクアセスメントに関する設問であったが、正答率は高く、おおむね理解されているようであった。

設問 2 は、セキュリティ仕様の決定に関する設問であった。いずれも基本的な対策を問う設問であり、正答率は高かった。

設問 3 は、ソースコードを解析してレースコンディションの発生を発見する能力を問うものであったが、正答率は低かった。特に設問 3(3)では、setInt メソッドを使用すべきところを setString メソッドと誤って記述した解答が目立った。データ型の誤った取扱いは修復が難しい不具合を引き起こすことがあり、細心の注意が必要である。

設問 4 は、RDBMS を利用したソフトウェア開発において、レースコンディションの発生を未然に防止するための規約について問うたが、抽象的な一般論だけを記載するなど、規約としては不十分な解答が散見された。

問 2

問 2 では、技術情報の管理を題材にして、そこで必要となる情報セキュリティ対策について出題した。全体として正答率は高かった。

設問 1 の b は、正答率が低かった。DKIM(DomainKeys Identified Mail)は、迷惑メールに対する有効な対策の一つである。DKIM の仕組みをよく理解しておいてほしい。

設問 2(2)は、正答率が高かった。メールのオープンリレー対策に関する理解が高いことがうかがわれた。

設問 4(2)比較方法は、エンベロープの扱いに関して誤った解答が目立った。SMTP の仕組みをよく理解しておいてほしい。

設問 5(1)は、タイムスタンプによる電子ファイルの完全性証明と存在証明を理解していない解答が散見された。

設問 5(2)は、“複製した DVD-R を遠隔地に運送する”とした解答において、運送時の安全性に言及のない解答が多かった。